

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		Relはーとびいす			公表日		令和8年2月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に対して活動スペースを確保している。状況に応じてスペースを区切る、外出支援等工夫している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用児の年齢や特性、医療的ケアの有無に応じて、安全に配慮した支援体制を整えている。	活動内容によっては増員が望ましい場面もある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーへの配慮や安全面の確認も実施している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な清掃、消毒を行い、清潔で安心して過ごせる環境を維持している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別支援が必要な場合や病後等必要に応じて使用している。	利用児の増減や特性の変化に応じて柔軟に環境調整を行っていききたい。		
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定例会議やその時々振り返りや、職員間での意見を出し合い、業務改善に取り組んでいる。			

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			頂いた意見を職員間で共有し、支援内容や業務改善につなげていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定例会にて様々な課題、意見を出し合っている。	ミーティングを通して意見を把握し、業務の見直しや支援体制の改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現時点で実施していないが、今後実施の検討をしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修の参加機会を設け、職員の専門性向上に努めている。 研修に参加したスタッフは全職員対象に伝達講習を実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		面談、支援記録やアセスメントを行い、利用児及び保護者のニーズを踏まえた計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で情報共有や検討を行い、共通理解を図った上で支援内容を決定している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援の統一を意識して取り組んでいる。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

## 適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき、5領域を踏まえた支援内容を設定し、子供の発達段階や特性に応じた計画を作成している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで活動内容を検討し、役割分担を行いながら支援を実施している。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子供の興味や発達状況に応じて活動内容を見直し、プログラムが固定化しないように工夫している。	遊びのバリエーションを増やしていきたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			職員数、利用人数により、個別活動は難しい。状況に応じてスペースを区切るなど対応している。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		全職員での打ち合わせは難しいが、各自で支援内容や役割分担を確認し、情報共有ツールを使用し、再度確認を行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			業務終了後は全員が集まれる時間もない為、情報共有ツールを使用して共有していきたい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			日々の支援について記録を行っているが、支援内容の振り返りを毎回行うことは難しい。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを実施し、子供の状況や保護者の意向を踏まえて支援計画の見直しを行っている。	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			地域交流の機会の提供について今後検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			連携しているが、体制はまだ薄く感じられる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校にお迎え時など先生と情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご家族様を通して連携している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行する際は情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修案内があれば、積極的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状実施できていない為、地域資源の情報収集や今後の機会を設けていきたい。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時等、口頭でお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談時に家庭での関りを助言している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時に重要事項説明書を用いて説明、同意を頂いている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子供の最善の利益を優先した支援内容になるように配慮している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			支援内容について、説明を行ったうえで同意を得ているが、全家庭には至っていない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳や送迎時に子育てに関する相談に応じ、助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		年1回実施している。	現在は行事等を中心に交流の機会を設けているが、今後は保護者会等の実施も検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった場合には迅速かつ適切に対応している。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		HP等活用できていない為、今後は活用しながら、情報提供方法を模索していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		個人情報の取り扱いについて、職員間で共有し、適切な管理をしている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		障がいの特性に応じてわかりやすい言葉や方法を用い意思疎通に努めている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民とは散歩に出かけた際などしか交流がない為、つながりを深める機会を検討していきたい。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		年2回実施している。(7月災害、11月火災)
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		年2回実施している。(7月災害、11月火災)
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○		服薬説明書をご家族様より頂き、変更があった際など都度確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		ご家族様と確認し、対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		計画を作成し、実施している。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			実施しているが、ご家族様への周知が薄く感じられる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月の定例会にてその月に発生したヒヤリハットの集計、伝達、再発防止策の再確認を実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的な研修の参加と全職員対象に伝達講習を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束は行っていない。	